

より安価な加工費を求めて中国へ、東南アジアへ、 そしてインドへ!

- 現在のこのような流れで安価な製品が日本にどん どん入ってきているが、かつての韓国と同様、物価 上昇によりメリットが無くなる。
- このような状況に対し、顧客にくっついて海外へ生産をシフトしている部品メーカーが多々あるが、国内の空洞化、技術の流出により、いづれ自分の首を絞めていることに気がつく日が来る。
- この様な状況を回避する方法は1つ。製品の7~8 割を占める部品・材料を大幅に限定することである。



■ コスト半減への挑戦と実現

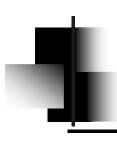
■ 「コスト半減」戦略のためのベンチマーキング

- 購買先とともに進める原価低減の進め方
 - 業界トップの値を基準原価とし、差を分析・低減する
- ベンチマークは世界中にいくらでもある
 - 内的ベンチマーキング
 - 競争的ベンチマーキング
 - 機能的ベンチマーキング・・・あらゆる分野の1番
- トップ自身が理想を絵にする

STEP7

STEP8

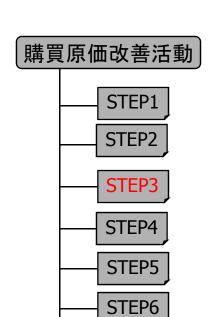
STEP9





■ 原価とは何か。どうやって引き下げるのか。

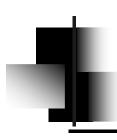
- 部分改善ではなく全費目対象のトータル改善を
 - トップ自身が高い目標に向かって「最後までやりぬく」 強い意志を持つ
 - 1,2ヶ月で最初の効果を出す
 - 改善を定着させる秘訣は「改善を楽しむ」こと
 - 改善はトライとエラーの繰り返し
- 会社の風土を変える一気通貫の仕組み改善
 - 社員一人一人が改善への意識を持ち、気づいたら即 行動
 - 以下に社員一人一人を改善の輪に巻き込めるか。
- 混乱を恐れず、改善して、また改善して・・・
 - 達人の仕事を奪え
 - ・・・・その人に聞くと何でも知っている在庫管理の達人



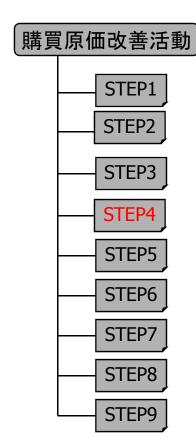
STEP7

STEP8

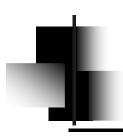
STEP9



■ 原価2分の1への挑戦と実現



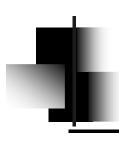
- 1. 下請けへの一律カット要求は間違っている
- 2. 安い人件費だけを求めての海外戦略は間違っている
- 3. 設備による解決は間違っている
- 4. 人を切り捨てるだけのリストラは間違っている
- 5. 知識偏重への疑問
- 6. 購買先と一体で進めることの必要性



■ 原価2分の1への挑戦と実現

購買原価改善活動 STEP1 STEP2 STEP3 STEP4 STEP5 STEP6 STEP7 STEP8 STEP9

- 改善のための着眼と姿勢
 - ものの見方・考え方を同じに
 - ムダ:付加価値を高めない
 - 正味作業・付随作業・ムダ
 - 動きを働きに
 - 目的達成の手法を自分で考えていく姿勢
 - 「なぜ」を5回で、真因を追究
 - 標準化と視える化
 - 仕事は部下との知恵比べ
 - 困ったときにはいつでも相談に来い!



■ 原価2分の1への挑戦と実現

購買原価改善活動 STEP1 STEP2 STEP3 STEP4 STEP5 STEP6 STEP7

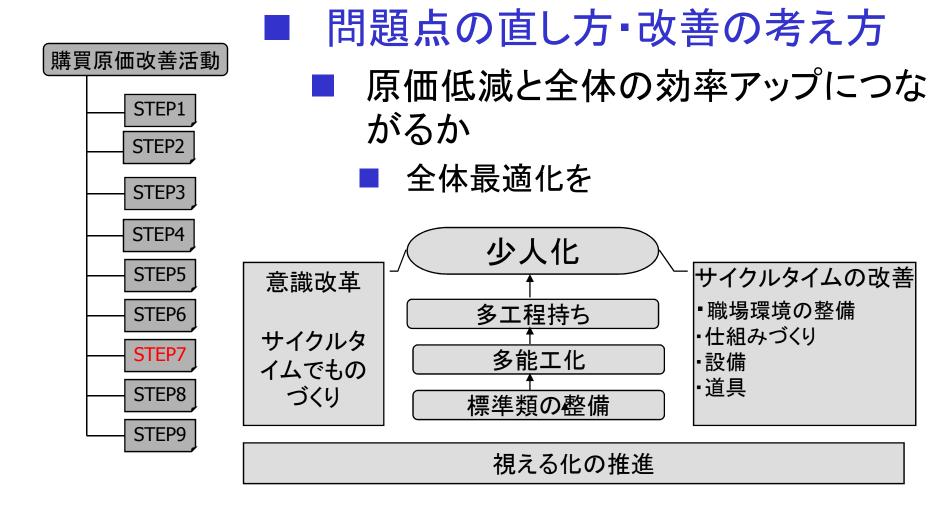
STEP8

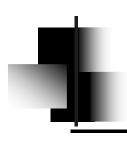
STEP9

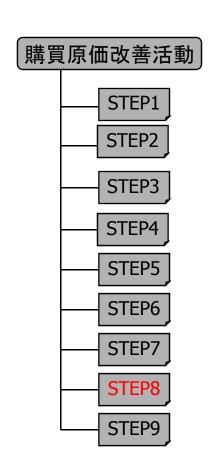
活動の進め方

- 1. 会社・職場の状況を把握する
- 2. 知識の開陳ではなく行動・実践で、現地・現物で
- 3. 問題点の直し方・改善の考え方
- 4. 改善の具体的手順
- 5. 実行一納得・チーム結成・着手
- 6. 改善結果のチェック
- 7. 更なる改善と水平展開

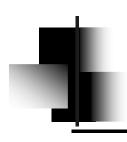


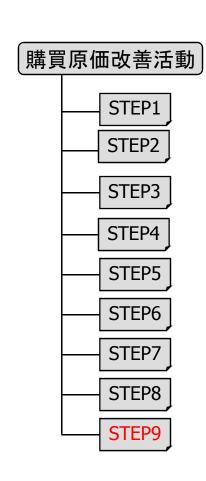






- 全体改善と一気通貫
- 1. 納期遅れを解決
- 2. 協力会社と一緒に知恵を絞る
- 3. 改善は一気通貫で
- 4. モデルラインの設計と旧来設備の破棄
- 5. 相手が求めるものよりも一歩先を
- 6. 需要を増やす改善





■ 日々の改善を損益計算書に表す

- 1. どんぶり勘定からは何も生まれない
- 2. 働いたではなく、儲かった
- 3. 原単位を決める
- 4. 基準原価を設定する
- 5. ライン長は経営者。日々収支がわかるようにする・・・支店別経営